

授 業 科 目 名	図画工作	教 員 名	山本 辰典 (実務経験のある教員)	免許・資格 との 関 係	小学校教諭	必修
					幼稚園教諭	選択
授 業 形 態	演習	担当形態	単独	卒 業 要 件	保育士	選択
科 目 番 号	KY0202	配当年次	1 年前期		こども音楽療育士	
単 位 数	2 単位			小幼コース	選択	
科 目	領域及び保育内容の指導法に関する科目（幼稚園） 教科及び教科の指導法に関する科目（小学校）					
施 行 規 則 に 定める科目区分 又 は 事 項 等	領域に関する専門的事項（幼稚園） 教科に関する専門的事項（小学校）					
一 般 目 標	図画工作の基礎技能を習得する。学生の造形感覚と創造的な技能を高め、創造性を豊かにする。 また、材料・道具を扱う技能を高め、効果的で安全に扱うことができるようにする。					
到 達 目 標	(1)対象を見て絵に表すことができる。 (2)透視図法・投影法を使って作図をすることができる。 (3)混色によって求める色をつくりだすことができる。 (4)絵を見て色や形、イメージについて感じたことを言葉で表現することができる。 (5)配置と配色を意識し、美しい構成をすることができる。 (6)カッターナイフ及び小刀、軽作業刃物を扱うことができる。 (7)のこぎり及び糸鋸を扱うことができる。					
ディプロマ・ポ リシーとの関係	本講義は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「5. 教育実践力を身につけている」「6. 教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」を育成する科目として配置している。					
授 業 の 概 要	この授業では、図画工作の基礎技能を習得する。学生自身が自分らしさを発揮して表現を追求し、その過程を通して基礎技能を養う。学生自身が表現を楽しみながら、各回の製作に取り組み、想像力や感受性、構想力を含む造形感覚と創造的な技能を高めていく。製作活動を通して材料・道具に関する知識を得ると共に、材料・道具を扱う技能を高め、効果的で安全な扱い方の指導ができるようにする。鉛筆、コンテ、水彩絵の具、顔彩・墨、小刀、鋸等を扱う。 アクティブラーニングとして、作品制作、振り返り、レポートなどを取り入れる。					
履 修 条 件 ・ 注 意 事 項	この科目で「図画工作」の基礎技能を高め、2年後期「図画工作科教育法」につなげてほしい。					
授 業 計 画	第1回：クレヨン・パスなどの描画剤で手や顔を描く。 描画剤の扱いに慣れ、対象を見て絵に表す。（目標(1)） 第2回：一点透視図法、二点透視図法、斜投影法、等角投影法を使って立体の作図をする。 箱や階段、外から見た校舎などを絵に表す。（目標(2)） 第3回：色の3属性について知る。12色相環を作成する。トーン（明度と彩度の複合概念）の図を作成する。（目標(3)） 第4回：トーンの図に着色し、明度・彩度を理解する。色彩調和について理解する。同系の調和、類似の調和、対照の調和の配色例を作成する。（目標(3)） 第5回：動きのある人体の全体像を描く。 プロポーションをとらえ、関節を意識し鉛筆で全身像を描き、サインペンで仕上げる。 （目標(1)） 第6回：自画像を墨で描く。 鏡で自分の顔を見ながら鉛筆で自画像を描き、墨汁で仕上げる。（目標(1)） 第7回：模写をする① 模写をすることで、作家が色や形で思いを表現していることを実感する。（目標(1), (3), (5)） 第8回：模写をする②					

	作家の色使いや筆づかいを真似て表現した後、何がどんな色でどのように描かれているかを記録する。(目標(1),(3),(4),(5)) 第9回：飛行する工作物を制作する。 様々な飛行する工作物を色やかたちを考えながら制作する。実際に飛ばして遊んだり、学友と飛距離を競ったりする。(目標(6)) 第10回：木材を使って玩具をつくる① アイディアスケッチをした後、設計図を書き、木取りをする。(目標(2)) 第11回：木材を使って玩具をつくる② 木を切って研磨をする。(目標(7)) 第12回：板材を使って玩具をつくる③ 塗装をして仕上げる。(目標(5)) 第13回：写真を使った構成をする① 写真に合う色画用紙を3枚選び、型枠を使って写真を切り、台紙をつける。(目標(5)) 第14回：写真を使った構成をする② 台紙をつけた写真をバランスよく配置し、タイトルや紹介文をつける。学友の作品の色や形、イメージ、良さや美しさについて記録する。(目標(5)) 第15回：絵手紙をつくる。葉書サイズの紙に墨で描いた後、着彩する。消しゴムなどでつくった印や判を押す。文章を墨で書く。(目標(1),(3),(5),(6)) 定期試験
授業外学修時間の確保について	(事前・事後学習として週4時間以上行うこと。) ・授業時間内に作品は完成しない。各自時間をかけて、納得できるものとなるよう追究して仕上げる。作品の提出期限を示した提出作品チェックリストを配布するので、計画的に時間外学習をすすめてほしい。 ・時間外学習においての道具や教室については、事前に担当山本にメールで確認すること。
学生に対する評価	定期試験30%・作品70% なお、作品などの提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。 ・コメントを記載して返却する。 ・作品について授業中に話し合う機会を持つ。
教材に関する情報	テキスト：特になし 参考書・参考資料等：『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 図画工作編』
担当者からのメッセージ	「図画工作」の基礎技能は今からでも身につけることができます。自分の感覚を使って表現する力をつけましょう。
オフィスアワー	毎週月曜日 16:20～17:00 Email: tyamamoto@miu.ac.jp
備考	事前に学生準備物を示すので、忘れず準備すること。道具等の購入場所が分からない場合は担当教員に相談すること。 担当教員は、小学校・高校における教員（美術）としての経験を活かし小学校における図画工作についての講義を行う。